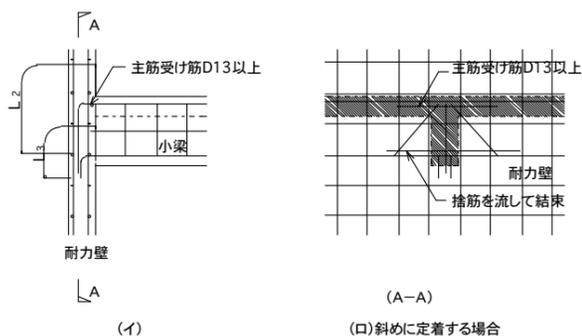


壁式鉄筋コンクリート構造基準図[5]

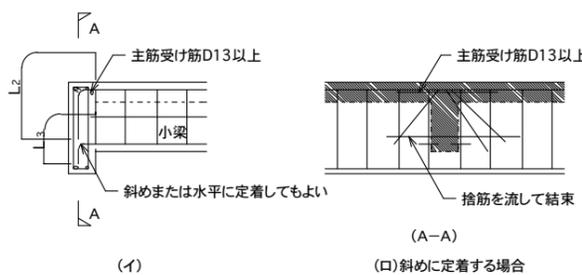
F 耐力壁と小梁

1 小梁外端部の定着

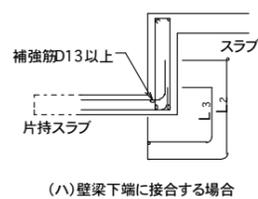
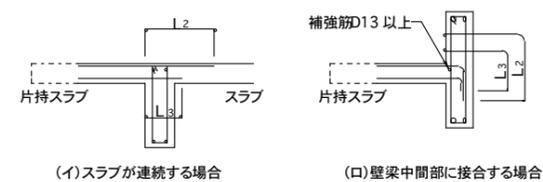


G 壁梁と小梁、床・屋根スラブ、片持スラブ

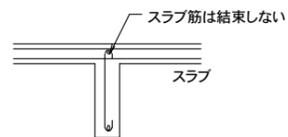
1 壁梁と小梁



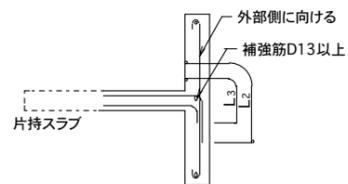
2 壁梁と片持スラブ



3 単配筋壁梁とスラブ



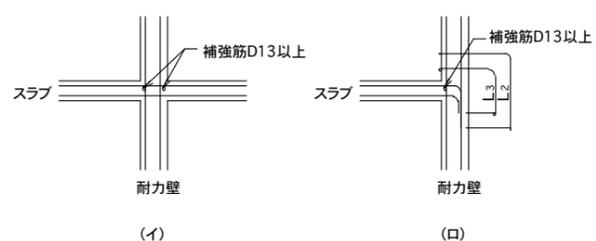
4 単配筋壁梁と片持スラブ



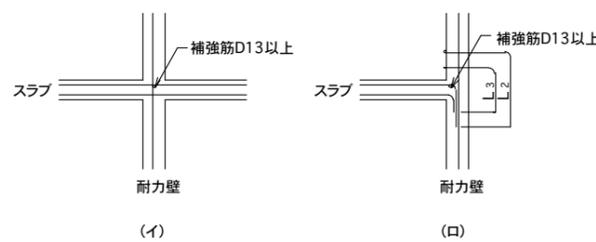
H 耐力壁とスラブの交差部の配筋

1 耐力壁とスラブ

(1) 耐力壁が複配筋の場合

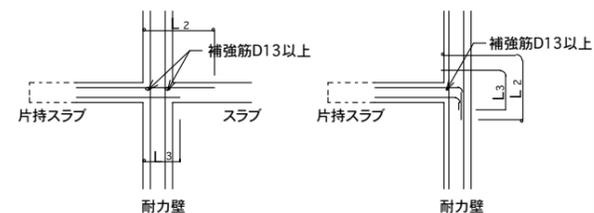


(2) 耐力壁が単配筋の場合

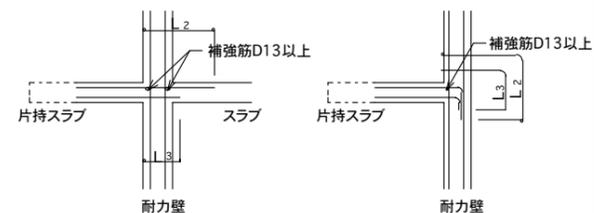


2 耐力壁と片持スラブ

(1) 他端にスラブがある場合

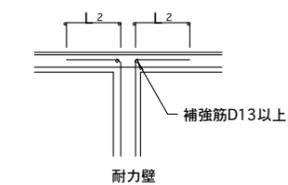


(2) 他端にスラブがない場合

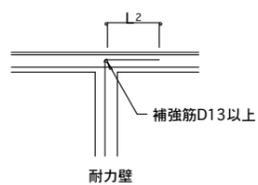


3 耐力壁と屋根スラブ

(1) 複配筋の場合



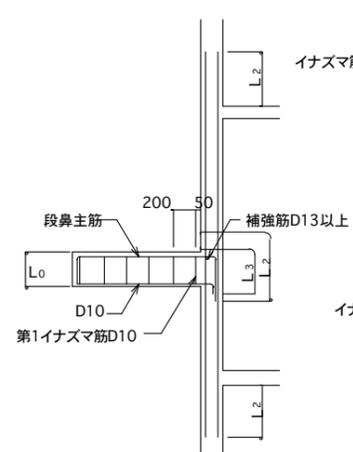
(2) 単配筋の場合



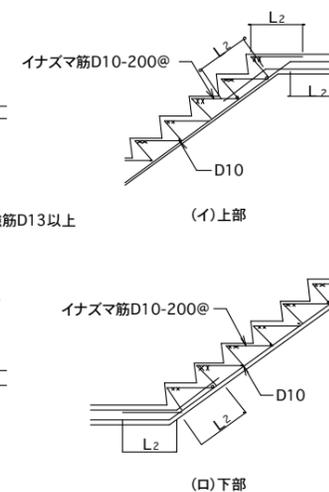
10.階段

A 片持階段

1 壁との取り合い



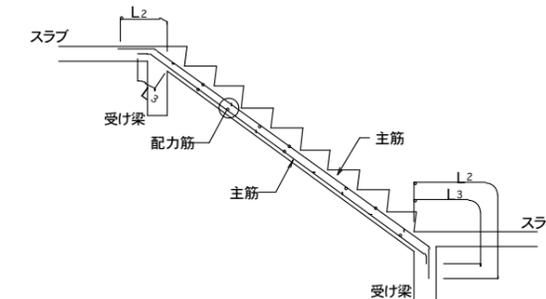
2 踊り場との取り合い



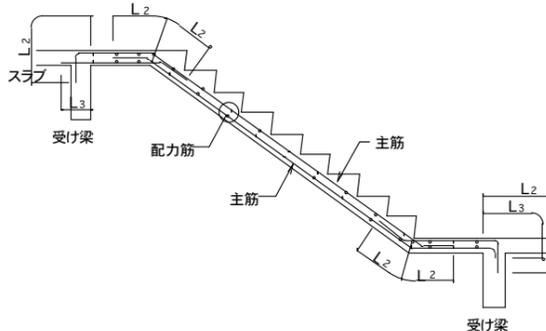
[注] 1) 先端の折曲げ長さ L_0 は、階段厚よりかぶり厚さを除いた長さとする。
2) 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に曲げおろす。

B スラブ階段

1 階段の両端に小梁のある場合

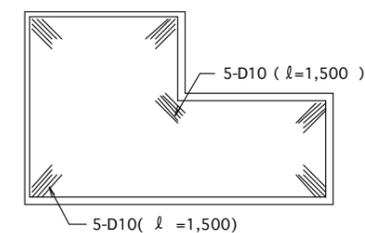


2 折り曲がりスラブで途中に梁のある場合



11.その他の補強

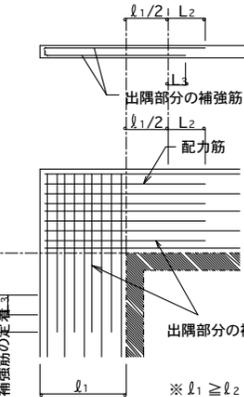
A 屋根スラブ



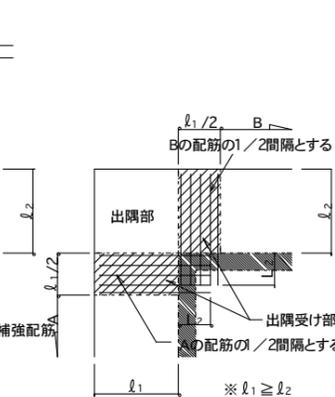
[注] 屋根スラブの出隅および入り隅部分には、上図により、補強筋をスラブ上端筋の下側に配置する。

B 片持スラブ出隅部

1 出隅部分補強配筋



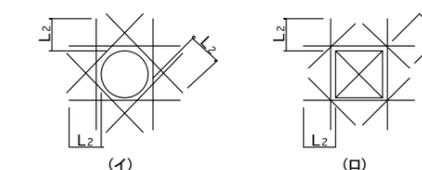
2 出隅受け部配筋



[注] 1) 補強筋は特記による。特記がなければD10-100@(ダブル)とする。配筋の方法は上図による。
2) 出隅受け部の配筋は上図による。

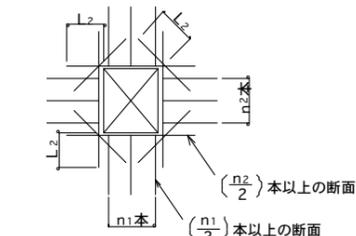
C 小開口部

1 耐力壁および壁梁の小開口部の補強



[注] 補強筋は2-D13以上とする。

2 床スラブおよび屋根スラブの小開口部の補強



[注] 斜め補強筋は2-D13以上とする。